

[成果情報名] 小輪、白色、丁字咲きの鉢物用マーガレット新品種「伊豆 42 号」

[要 約] 交雑育種法により、白色の花色、丁字咲きで小輪の花径、極早生性の開花特性を持つ鉢物用新品種「伊豆 42 号」を育成した。本品種は、年内から開花し、草姿がコンパクトで、現地の適応性も高いことから、鉢物用品種として有望である。

[キーワード] 鉢物、マーガレット、新品種、交配育種

[担 当] 静岡農林技研・伊豆農研究セ・生育・加工技術科

[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 関東東海北陸農業・花き

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

鉢物用マーガレットは静岡県東部地域の鉢物主力品目として生産されている。一方で、多彩な花色や特徴ある花型で年内から開花する品種の育成が求められている。このため、交雑育種により優れた特性を持った鉢物用マーガレットの新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 育成経過：2017 年に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターにおいて、「P15-14-2」を種子親、「リトルブーケ」を花粉親として交雑種子を得た。種子を播種して得られた 134 個体から 7 個体を優良個体として選抜した。選抜個体を系統とし、所内および現地ほ場で生育および開花特性に注目して選抜を行った。その結果、白色の丁字咲きタイプ「P17-65-01」は鉢物品種として有望性が認められたため、育成系統候補「伊豆 42 号」とした（図 1）。
- 2 生育特性：「伊豆 42 号」は、白色の花色、丁字咲き、小輪の花径で、年内から開花する（表 1、図 2）。
- 3 現地適応性：「伊豆 42 号」は、花色、花型、葉色が優れており、‘スイートリップル’よりも開花が早かった。丁字咲き品種のシリーズとして出荷が可能な鉢物用品種として評価が高かった（表 2、図 2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 種苗法による品種登録を出願予定であり、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

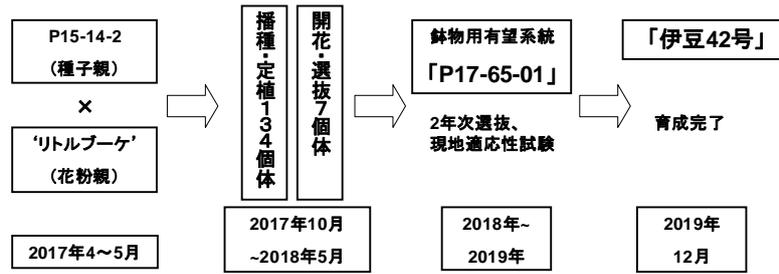


図1 マーガレット「伊豆42号」の育成経過

表1 「伊豆42号」の生育開花特性(2018年、所内試験) ^{1) 2)}

系統名	花色		花型	開花日 (月日)	草丈 (cm)	一次分枝 (本)	花径 (mm)
	舌状花	丁字状花					
「伊豆42号」	白	薄黄	丁字	11月14日	25.5	4.3	36.3
ムーンライト ³⁾	黄	—	一重	12月25日	41.0	4.0	42.7
シェリエメール ³⁾	桃	桃	丁字	11月20日	20.7	4.0	45.5

- 1) 所内ガラス温室での特性。作型は、2018年7月4日挿し芽、7月24日5号ポリポットに鉢上げ、8月13日摘心
 2) 各系統3株調査
 3) 対照品種

表2 「伊豆42号」の生育開花特性および現地生産者の評価(2019年、現地試験) ^{1) 2)}

系統名	花色	花型	開花時期	草丈 ⁴⁾	頭花の直径 ⁴⁾	現地生産者の評価
「伊豆42号」	白	丁字	10月下旬	低	小	丁字咲きのシリーズに向く (u, v, w, x, y, z) 葉色が銀葉で良い (u, v, w, x, y, z) 開花の揃いが良く育てやすい (z)
スイートリップル ³⁾	白	丁字	1月以降	低~中	中	—

- 1) 2019年7月4日挿し芽、7月30日および31日に各生産者に各系統10~30本挿し芽配布、3.5号ポリポットに鉢上げ。
 2) 現地生産者：伊豆市(u)、伊豆の国市(v)、沼津市(w)、富士宮市(x)、三島市(y, z)
 3) 対照品種
 4) 品種登録特性調査基準により記載



図2 現地における「伊豆42号」の開花状況(左;11月27日、三島市)と花型(右)

[その他]

研究課題名：マーガレット新品種育成と伊豆特産花きの生育特性の解明
 予算区分：県単
 研究期間：2016~2020年度
 研究担当者：勝岡弘幸、加藤智恵美